

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 成学社

上場取引所 東

コード番号 2179 URL <http://www.kaisei-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,615	4.4	634	△14.3	634	△12.6	386	△0.5
25年3月期第3四半期	7,294	13.0	741	4.7	725	6.4	388	17.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 387百万円 (△0.4%) 25年3月期第3四半期 388百万円 (17.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	65.99	65.61
25年3月期第3四半期	66.50	66.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,537	2,281	34.9
25年3月期	5,843	1,943	33.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,281百万円 25年3月期 1,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.70	—	4.35	13.05
26年3月期	—	4.60	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.60	9.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、25年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,239	5.7	661	1.6	658	1.4	357	9.1	61.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) 株式会社東京フェリックス・株式会社アイビー

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,859,200 株	25年3月期	5,844,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	260 株	25年3月期	260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,853,750 株	25年3月期3Q	5,840,839 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する説明	2
（2）連結財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策、金融政策に対する期待感から円安・株高の流れが続き、景気は緩やかな回復の兆しを見せました。一方、円安に伴う製品価格の上昇により家計の負担増加懸念も強く、景気の先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である学習塾業界では、少子化の影響や顧客ニーズの多様化により学習塾の選別基準は厳しさを増しており、業界内での競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループでは、教務内容の充実によりサービス水準を向上させるとともに、英会話教室の運営、学校法人等への講師派遣を通じて、総合教育企業への発展を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,615,259千円（前年同期比4.4%増）となりましたが、主に教育関連事業の収益が悪化したことで、営業利益は634,931千円（前年同期比14.3%減）、経常利益は634,036千円（前年同期比12.6%減）、四半期純利益は386,296千円（前年同期比0.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①教育関連事業

当社グループにおいて例年ピークを迎える11月末時点の塾生数は、クラス指導部門10,592人（前年同月比526人減、4.7%減）、個別指導部門14,889人（同492人増、3.4%増）、グループ塾生数は25,481人（同34人減、0.1%減）となりました。クラス指導部門では、塾生募集の芳しくない状況が続いているものの、比較的単価の高い学年の塾生が増加していることから、売上高は前年とほぼ同水準で推移しております。個別指導部門では、塾生数は堅調に増加し、塾生数の増加が売上高の増加につながる状況が続いております。

また、費用面においては、今後の事業拡大に向けた人員配置の実施、「個別指導学院フリーステップ」のフランチャイズ展開を強化するための先行投資を行っております。

この結果、売上高は7,446,243千円（前年同期比4.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は942,110千円（前年同期比9.3%減）となりました。

②不動産賃貸事業

前年とほぼ同水準の賃貸状況であったことから、売上高は39,969千円（前年同期比1.7%減）となり、防犯設備の強化、老朽化による不動産修繕により費用が増加したため、セグメント利益（営業利益）は38,680千円（前年同期比8.3%減）となりました。

③飲食事業

個人消費の低迷や競合する飲食店の増加等厳しい状況により、売上高の減少傾向が続いております。この結果、売上高は129,047千円（前年同期比11.2%減）となり、セグメント損失（営業損失）は5,369千円（前年同期はセグメント利益（営業利益）8,182千円）となりました。

（2）連結財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末から635,281千円（29.1%）増加し、2,818,033千円となりました。これは主として営業未収入金が増加し、前連結会計年度に比べ801,376千円増加し、現金及び預金が増加し、前連結会計年度に比べ85,572千円、商品が同23,582千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末から59,000千円（1.6%）増加し、3,719,493千円となりました。これは主として建物及び構築物が増加し、前連結会計年度に比べ95,841千円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末から694,282千円（11.9%）増加し、6,537,526千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末から234,504千円（9.2%）増加し、2,793,980千円となりました。これは主として前受金が増加し、前連結会計年度に比べ288,454千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から121,286千円（9.0%）増加し、1,461,785千円となりました。これは主として長期借入金が増加し、前連結会計年度に比べ138,234千円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末から355,790千円（9.1%）増加し、4,255,766千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末から338,491千円（17.4%）増加し、2,281,760千円となりました。これは主として利益剰余金が増加し、前連結会計年度に比べ333,932千円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表（平成25年5月14日）の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年10月1日付で、連結子会社でありました株式会社東京フェリックスは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

また、平成25年10月1日付で、当社の連結子会社でありました株式会社アイビーは、当社の同じく連結子会社である株式会社アプリスを存続会社とする吸収合併により消滅しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間より、上記消滅会社2社を連結の範囲から除外しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,058,976	973,403
営業未収入金	809,490	1,610,866
商品	60,641	37,058
貯蔵品	11,002	20,159
その他	279,022	213,423
貸倒引当金	△36,380	△36,878
流動資産合計	2,182,752	2,818,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,062,844	2,270,496
減価償却累計額	△774,673	△886,483
建物及び構築物（純額）	1,288,170	1,384,012
土地	910,950	923,058
その他	472,572	481,618
減価償却累計額	△259,940	△307,402
その他（純額）	212,631	174,216
有形固定資産合計	2,411,753	2,481,286
無形固定資産		
のれん	32,181	44,422
その他	100,484	76,270
無形固定資産合計	132,666	120,692
投資その他の資産		
差入保証金	807,202	804,549
その他	321,670	312,964
貸倒引当金	△12,799	—
投資その他の資産合計	1,116,072	1,117,514
固定資産合計	3,660,492	3,719,493
資産合計	5,843,244	6,537,526

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,751	70,356
短期借入金	410,000	633,334
1年内返済予定の長期借入金	381,289	379,048
未払法人税等	182,305	38,693
賞与引当金	91,529	23,592
前受金	566,370	854,824
その他	787,230	794,132
流動負債合計	2,559,476	2,793,980
固定負債		
長期借入金	967,461	1,105,695
退職給付引当金	16,829	16,829
役員退職慰労引当金	13,061	17,795
資産除去債務	247,942	256,425
その他	95,205	65,040
固定負債合計	1,340,499	1,461,785
負債合計	3,899,975	4,255,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	231,208	233,008
資本剰余金	171,208	173,008
利益剰余金	1,539,959	1,873,892
自己株式	△52	△52
株主資本合計	1,942,324	2,279,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,903
その他の包括利益累計額合計	944	1,903
純資産合計	1,943,268	2,281,760
負債純資産合計	5,843,244	6,537,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,294,935	7,615,259
売上原価	5,439,502	5,818,144
売上総利益	1,855,433	1,797,115
販売費及び一般管理費	1,114,352	1,162,184
営業利益	741,081	634,931
営業外収益		
受取利息	1,403	1,336
受取配当金	141	199
保険解約返戻金	—	14,416
その他	10,037	5,902
営業外収益合計	11,582	21,855
営業外費用		
支払利息	22,427	21,083
その他	4,534	1,666
営業外費用合計	26,962	22,750
経常利益	725,701	634,036
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10,999
特別利益合計	—	10,999
特別損失		
固定資産除却損	2,844	—
会員権売却損	—	10,685
減損損失	3,811	5,199
特別損失合計	6,656	15,884
税金等調整前四半期純利益	719,045	629,151
法人税、住民税及び事業税	307,654	172,398
法人税等調整額	22,962	70,455
法人税等合計	330,617	242,854
四半期純利益	388,428	386,296

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	388,428	386,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	472	959
その他の包括利益合計	472	959
四半期包括利益	388,900	387,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,900	387,255
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	7,108,914	40,673	145,347	7,294,935	—	7,294,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,467	—	20,467	△20,467	—
計	7,108,914	61,140	145,347	7,315,403	△20,467	7,294,935
セグメント利益	1,038,603	42,199	8,182	1,088,984	△347,903	741,081

(注) 1 セグメント利益の調整額△347,903千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用347,903千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	7,446,243	39,969	129,047	7,615,259	—	7,615,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,763	—	20,763	△20,763	—
計	7,446,243	60,732	129,047	7,636,023	△20,763	7,615,259
セグメント利益又は 損失(△)	942,110	38,680	△5,369	975,420	△340,489	634,931

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,489千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用
340,489千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。